

社会不安障害(SAD)と引きこもり 講演会のご案内

人前が苦手な社会不安障害について

■主催/KHJ香川県「オリーブの会」■後援/全国引きこもりKHJ親の会

近年話題となっている「社会不安障害」は、人生を左右しかねない病気であるにもかかわらず、認知度も受診率も非常に低いのが現状です。治療で改善が期待できる病気であることを、この機会に広く認知され、理解されることを願っています。ぜひご参加下さい。

次のとおり開催しますので、ぜひ参加してください。

とき

2007. 2/25(日)
PM1:00～受付

ところ

**香川県社会福祉総合
センター6F研修室**

講師

森岡 英五 氏

「プロフィール」

■岡山大学医学部卒(昭和53年)
■森岡メンタルクリニック院長(平成14年開業)

参加料

1,000円

社会不安障害(SAD)とは

人前で、話をする、食事をする、字を書く。こうした一般的によく遭遇する場面で、極度の不安感や恐怖心を抱き、頭が真っ白になってしまったという話をよく聞きます。従来、こうしたことは性格的な問題と考えられてきました。しかし、近年、研究が進み、これらが社会不安障害(SAD)という疾患であり、うつ病と同じく一般の人にも多く患者が存在することが明らかとなって、今注目されてきています。

社会不安障害(Social Anxiety Disorder:以下SAD)の患者さんの場合、不安な状況を回避したり、吐き気やめまい、動悸などの様々な身体症状を生じたりして、日常生活や仕事などに支障が現れます。人によっては会社や学校などに行けなくなる、つまり引きこもりの状況になる人もいます。

SADは性格的な問題との違いが極めて難しいのですが、性格の場合は同じ状況に遭遇することで「慣れ」が生じ、やがて状況への恐怖心などを克服していきます。しかしながらSADの疾患の場合は慣れることがありません。顔が赤くなることが恥ずかしくて人前に出られなくなり、それがいつまでたっても治らない、このような場合はSADの可能性があります。

その症状はこんな時に起こりますか?

1. 人前で話をする時
2. 人前で電話をかける時
3. 人前で字を描く時
4. 大勢の人と会食する時
5. 初対面の人に紹介される時
6. 先生や上司と話したりする時
7. 他の人たちが着席している部屋へ入室する時
8. 来客を迎える時
9. 公衆トイレで用を足す時

治療は?

おもに薬物療法と認知行動療法があります。薬物では抗うつ薬・抗不安薬が有効といわれています。(抗うつ薬で治療中のものがある。)認知行動療法には、患者さんが不安を感じる場面に身をおくことを繰り返して慣れさせる。不安への対処法を学ぶ、自分の行為が他人にどう思われているかを客観的に考え、今までと違う考え方があることに気づかせる、などがあります。

私たちは、引きこもり(ニート)の社会参加を願う家族会です。

●お問い合わせは

KHJ香川県「オリーブの会」

090-4332-3288(川井)